

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名	伊勢原市立桜台小学校
-----	------------

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
国語	<ul style="list-style-type: none"> 必要なことを説明し、話し手が伝えたい事や自分が聞きたい事の中心を捉えることができている。 文章を読む際に、文章中に用いられている登場人物の相互関係について描写を基に捉えることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章全体の構成や書き表し方などに着目して文章を整えること。 学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使うこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 「C 変化と測定」の領域の問題について、課題を捉えて答えることができている。百分率で表された割合について、理解している児童が多く、無回答率も少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 「A 数と計算」の領域の問題について、最小公倍数の意味を正確に理解すること。 図形を構成する要素に着目して、ひし形や平行四辺形の意味や性質、構成の仕方について理解すること。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 自分で行った実験や観察の情報を基に、課題について検討し、自分の考えをもつことができる。 問題解決の道筋を構想し、自分の考えをもつことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「A 『粒子』を柱とする領域」について、基本的な用具の名前・使用方法を理解すること。 自然の事物・事象から得た情報を分析、解釈し自分の考えをもち、その内容を記述できるように授業を通して取り組むこと。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> 生活リズムを整えて生活している児童が多い。 学級会などで、友達と話し合いで問題を解決することができている。 学校での学習(国語・算数・理科)が大切だと考えている児童が多い。 多くの児童が夢や目標をもつことができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校に行くのは楽しいと思っている児童が多いが、楽しくないと思っている児童もいること。 家庭での学習時間が少ないこと。 ICT機器の学習への有用性を多くの児童が感じているものの、有効な活用状況に至っていないこと。

2① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> 読み手の目的によって中心となる語や文が異なることを例文などから理解し、何について要約するのかという目的を明らかにして文章を書く活動や、自分の立場や考えを明確に表現することのできる場を設定した授業展開など、単元を見通して児童の課題とする力を補っていくことのできるような学習計画を意識していく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> 数と計算(公倍数・公約数)の基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る。 図形を構成する要素に着目し、いろいろな図形の意味や性質、構成の仕方を理解できるような学習活動を取り入れる。 <p>【理科】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自ら実験や観察で得た結果を活用できるような単元づくりに努める。 用具を正しく使ったり、目的に応じた実験を行ったりすることができるような指導を工夫する。

2② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項)

※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

<p>学校では、全国学力・学習状況調査の結果を職員全体で共有し、指導計画を意識したきめ細やかな指導に取り組んで参ります。また、教科等を横断した指導の充実や、誰もが楽しく学校生活を送ることができるような環境づくりに努めて参ります。各ご家庭では、</p> <ol style="list-style-type: none"> 豊かな表現をはぐくむ言語環境を <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち伝えるという活動は、生活面では互いを理解し認め合うために必要です。学習面でも、友達の考えと比べ、深めるためにも大切な活動です。自分の考えや思いを適切な表現で発信するために、語彙を増やしたり、豊かな表現に触れたりすることが必要です。ご家庭でも、読書をしたり会話時間を増やしたりして、豊かな表現をはぐくむ環境づくりにご協力ください。 携帯・スマートフォンやコンピュータの使い方の約束を <ul style="list-style-type: none"> 様々な機器の進歩により生活が便利になる一方で、使い方によっては誰かを傷つけたり、自らに災いが降りかかったりすることもあります。保護者の管理のもと、適切な使用ができていて、トラブルが減っていることに感謝しています。引き続き、よろしくお願ひします。 <p>今後も、児童の健やかな成長をはぐくむ環境を、学校・家庭・地域の皆様とで創っていけるよう、お力添えいただければ幸いです。</p>
